

流通ビジネスメッセージ標準[®]

運用ガイドライン(基本編) 第2.1版

※第2.1版の改訂に関しては赤字で記載しています。

2021年 12月

No	タイトル	変更事項
1	第1.3版(2009年10月)作成	基本編と生鮮編を併合
2	第1.3.1版(2012年 4月)作成	商品マスタメッセージ公開に伴う改訂 (業務プロセス図、GTIN)
3	第1.3.2版(2013年 4月)作成	CR[2013-04-002]: 誤字、記述漏れの修正
4	第1.3.3版(2014年 10月)作成	CR[2014-09-001]: オフライン発注時の出荷開始型モデル のバリエーション及び出荷メッセージ標準の追加
5	第1.3.4版(2017年 4月)作成	CR[2017-03-001]: CR[2014-09-001]反映漏れの修正
6	第1.3.5版(2017年 12月)作成	CR[2017-06-001]: 出荷梱包(紐付けあり)メッセージ「出荷 開始型モデル」の追加 CR[2017-06-002]: 返品受領メッセージ「卸・メーカー開始 型モデル」の追加
7	第2.0版(2018年 12月)作成	消費税軽減税率制度施行に伴う改訂
8	第2.1版(2021年 12月)作成	適格請求書等保存方式(インボイス制度)施行に伴う改定

1. 本モデルの前提

(2)伝票レス 3)消費税法上の前提

#削除

流通BMSを使用して電子取引を行う場合、紙の請求書等が作成されないが、帳簿に一定の事項を記載することで仕入税額控除を受けることができる。

<ページ削除>

2019年10月1日 軽減税率導入後に

流通BMS採用による「伝票レス」であっても

帳簿により仕入税額控除を受けることができる根拠を示したページ
(国税庁国税局から回答を得ていることを記載)

ただし、適確請求書保存方式になったら認められなくなる前提

「適格請求書等保存方式では、電子インボイスが法定されるため、

本頁の方法による仕入税額控除は適用できない」と記載があるが

インボイス制度に基づいた帳簿記載であれば認められる



このページでの役割(留意点)は終わっていると判断

1. メッセージ項目解説

(8)区分 2)請求・支払に関する区分 ③支払内容／支払内容(個別) (補足)

■支払内容コードについて (補足) ※適格請求書発行事業者登録番号の格納方法

「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」施行に伴い、適格請求書(インボイス)の要件に適格請求書発行事業者の「登録番号」の記載が必要になる。

それに伴い、「支払メッセージ」への「登録番号」の格納方法を、下記のように設定する。
尚、「登録番号」は、一の支払通知書(支払メッセージ)に、卸・メーカーを売り手(主に商品等の品代)とした場合と、小売を売り手(主に役務の提供等)とした場合を、同時に格納できるように考慮している。

1. 適格請求書発行事業者登録番号 … 支払内容 9000 を指定

※コードリストに定義

2. 適格請求書発行事業者登録番号(詳細) … 支払内容(個別)

「小売—卸・メーカー間」での登録番号格納では、以下のように設定することを推奨する。

0001 … 「卸・メーカー」を売り手とした適格請求書発行事業者登録番号を表す。

0002 … 「小売」を売り手とした適格請求書発行事業者登録番号を表す。

※「小売—卸・メーカー間」以外の登録番号格納では、支払内容(個別)は、相対で確認の上、コード設定する。

3. 適格請求書発行事業者登録番号(詳細名称) … 支払内容(個別名称)

※支払内容(個別)で設定した適格請求書発行事業者(売り手)の企業名を【全角】で格納する。

格納例 : こだいら食品(卸・メーカー企業名) 、 スーパー愛美(小売企業名)

4. 適格請求書発行事業者登録番号(内容) … 支払内容(個別名称カナ)

※支払内容(個別)で設定した適格請求書発行事業者(売り手)の登録番号を【半角】で格納する。

格納例 : T1234567890123

1. メッセージ項目解説

(8)区分 2)請求・支払に関する区分 ③支払内容／支払内容(個別) (補足)

支払データへの適格請求書発行事業者登録番号の格納例

⇒支払内容、支払内容(個別)、支払内容(個別名称)、支払内容(個別名称カナ)
を使って登録番号を格納する

支払内容群	支払内容 適格請求書発行事業者の登録番号を定義する。 (コードリストに定義)	支払内容(個別) 支払内容に9000を設定した場合必須。 売り手が「卸・メーカー」か「小売」かを指定する詳細コードをセット。	支払内容(個別名称) 支払内容に9000を設定した場合必須。支払内容(個別)で設定した売り手の企業名をセット。	支払内容(個別名称カナ) 支払内容に9000を設定した場合必須。支払内容(個別)で設定した売り手の登録番号をセット。
	9000: 適格請求書発行事業者登録番号	0001: 卸・メーカー	こだいら食品	T1234567890123
	9000: 適格請求書発行事業者登録番号	0002: 小売	スーパー愛美	T3210987654321

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正



(6) オフライン発注に対する出荷メッセージ標準化項目

オフライン発注に対する出荷メッセージを利用する場合は、SBDHと送受信ヘッダー、及び下記の項目を設定内容の通りに使用し、それ以外の項目は使用しない。

なお、メッセージ各項目の必須／任意やタイプ、桁数等は、通常の出荷メッセージの通りとする。

連番	メッセージ項目番号	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	設定内容	コメント	
16	21	支払法人コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売企業コード】	小売毎に固定値を設定	
17	22	支払法人GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売GLN】または【0】	小売毎に固定値を設定	
18	23	発注者コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売企業コード】	小売毎に固定値を設定	
19	24	発注者GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売GLN】または【0】	小売毎に固定値を設定	
20	25	発注者名称	任意	文字	Text	MAX20	【小売名称】		
21	26	発注者名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	【小売名称】		
22	121	取引番号(発注・返品)	必須	数字	Identifier	MAX10	【0】または【小売範囲指定の伝票番号】	固定値【0】を基本とするが、相対で調整の上、小売範囲指定の伝票番号を設定可能。	
24	324	出荷者管理番号	任意	英数	Identifier	MAX10	【出荷者側発番の伝票番号】		
							センター納品(店別仕分)・店直納品	センター納品(総量)	
29	31	最終納品先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【店舗コード】	【センターコード】	
30	32	最終納品先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	【0】	固定値【0】を設定
31	33	最終納品先名称	任意	文字	Text	MAX20	【店舗名称】	【センター名称】	
32	34	最終納品先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	【店舗名称】	【センター名称】	
33	35	計上部署コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【店舗コード】	【センターコード】	最終納品先と同一内容を設定
34	36	計上部署GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	【0】	最終納品先と同一内容を設定
35	37	計上部署名称(カナ)	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	【店舗名称】	【センター名称】	最終納品先と同一内容を設定

： 必須項目のため、格納内容がない場合でも固定値を設定する項目

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正



(6) オフライン発注に対する出荷メッセージ標準化項目

連番	メッセージ項目番号	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	設定内容	コメント
39	51	請求取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【取引先コード】	
40	52	請求取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
41	53	請求取引先名	任意	文字	Text	MAX20	【取引先名称】	
42	54	請求取引先名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	【取引先名称】	
43	55	取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【取引先コード】	
44	56	取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
45	57	取引先名称	任意	文字	Text	MAX20	【取引先名称】	
46	58	取引先名称カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX20	【取引先名称】	
53	176	便No	任意	数字	Code	2	【便No】	日配・パンでの利用を想定
64	87	商品分類(大)	必須	英数	Identifier	MAX10	【小売部門コード】または【0】	
65	88	商品分類(中)	必須	英数	Identifier	MAX10	【0】	固定値【0】を設定
66	101	発注日	必須	数字	Date	8	【発注日】	
68	103	最終納品先納品日	必須	数字	Date	8	【納品日】	
73	171	商品区分	任意	数字	Code	2	【01】または【02】または【03】	定番、準特価(中目)、特売(チラシ)
76	333	取引番号区分	任意	数字	Code	2	【21】または【22】	生鮮で利用 出荷時取引先発番、受領時小売発番
77	174	EOS区分	任意	数字	Code	2	【02】	「非EOS発注」を表す【02】を設定
82	334	不定貫区分	任意	数字	Code	2	【00】または【01】	生鮮で利用 定貫、不定貫
83	184	処理種別	任意	数字	Code	2	【伝票区分】	
85	201	税区分	任意	数字	Code	2	【00】または【01】または【02】または【03】または【04】	コードリストに準ずる
86	202	税率	任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Numeric	3	【消費税率】	

： 必須項目のため、格納内容がない場合でも固定値を設定する項目

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正



(6) オフライン発注に対する出荷メッセージ標準化項目

連番	メッセージ項目番号	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	設定内容	コメント
89	133	原価金額合計	任意	数字	Amount	MAX10	【原価金額合計】	
90	136	売価金額合計	任意	数字	Amount	MAX10	【売価金額合計】	
95	123	取引明細番号(発注・返品)	必須	英数	Identifier	MAX4	【明細行番号】	固定値【0】を設定
99	325	出荷者管理明細番号	任意	英数	Identifier	MAX4	【出荷者側発番 明細行番号】	
107	72	商品コード(GTIN)	必須	数字	Identifier	MAX14	【0】	固定値【0】を設定
108	73	商品コード(発注用)	必須	数字	Identifier	MAX14	【小売商品コード】	
111	75	商品コード区分	必須	数字	Code	3	【999】	自社コードを表す【999】を設定
112	77	商品名	任意	文字	Text	MAX25	【商品名称】	
113	78	商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	【商品名称】	
114	79	規格	任意	文字	Text	MAX25	【商品規格名称】	
115	80	規格カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	【商品規格名称】	
141	131	原単価	必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	【原単価】	
142	132	原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	【原価金額】	
143	134	売単価	任意	数字	Amount	MAX10	【売単価】	
144	135	売価金額	任意	数字	Amount	MAX10	【売価金額】	
146	151	発注数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	出荷数量(バラ)と同一内容をセット	項目番号159と同一内容を設定
147	152	発注単位	必須	数字	Numeric	MAX4	【1】	固定値【1】を設定
148	153	発注数量(発注単位数)	必須	数字	Quantity	MAX6	【0】	固定値【0】を設定
149	154	発注単位コード	必須	数字	Code	2	【00】	「個」を表す【00】を設定
155	159	出荷数量(バラ)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	【出荷バラ数】	

： 必須項目のため、格納内容がない場合でも固定値を設定する項目

3. 発注メッセージ～支払メッセージ (6)オフライン発注に対する出荷メッセージ標準化項目

#修正



連番	メッセージ項目番号	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型*1	桁数	設定内容	コメント
157	328	出荷重量	任意	数字 (小数点以下3桁有り)	Measure	MAX10	【出荷重量】	生鮮で利用
158	165	欠品数量(バラ数)	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	【0.0】	固定値【0.0】を設定

： 必須項目のため、格納内容がない場合でも固定値を設定する項目

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正



(8) 卸・メーカー起票の返品情報送信に対する返品受領メッセージ標準化項目(1/2)

卸・メーカー開始型の返品受領メッセージを利用する場合は、SBDHと送受信ヘッダー、及び下記の項目を設定内容の通りに使用し、それ以外の項目は使用しない。なお、メッセージ各項目の必須／任意やタイプ、桁数等は、通常の返品受領メッセージの通りとする。

連番	メッセージ項目番号	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	設定内容	コメント
16	21	支払法人コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売企業コード】	小売毎に固定値を設定
17	22	支払法人GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売GLN】または【0】	小売毎に固定値を設定
18	23	発注者コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売企業コード】	小売毎に固定値を設定
19	24	発注者GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【小売GLN】または【0】	小売毎に固定値を設定
22	121	取引番号（発注・返品）	必須	数字	Identifier	MAX10	【小売範囲指定の伝票番号】	
24	27	直接納品先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【店舗コード】または【センターコード】または【0】固定	小売毎に固定値を設定
25	28	直接納品先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
28	31	最終納品先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【店舗コード】または【センターコード】	
29	32	最終納品先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
32	35	計上部署コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【店舗コード】または【センターコード】	
33	36	計上部署GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
35	51	請求取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【取引先コード】	
36	52	請求取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
39	55	取引先コード	必須	数字	Identifier	MAX13	【取引先コード】	
40	56	取引先GLN	必須	数字	Identifier	MAX13	【0】	固定値【0】を設定
45	180	商品移動区分	必須	数字	Code	2	【01】or【02】	
46	87	商品分類（大）	必須	英数	Identifier	MAX10	【小売部門コード】または【0】	
47	88	商品分類（中）	必須	英数	Identifier	MAX10	【0】	固定値【0】を設定

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正

みんなつながる



(8)卸・メーカー起票の返品情報送信に対する返品受領メッセージ標準化項目(2/2)

連番	メッセージ項目番号	項目名	必須／任意	タイプ	XMLデータ型	桁数	設定内容	コメント
48	106	計上日	必須	数字	Date	8	【計上日】	
55	201	税区分	任意	数字	Code	2	【00】または【01】または【02】または【03】または【04】	コードリストに準ずる
56	202	税率	任意	数字 (小数点以下1桁有り)	Numeric	3	【消費税率】	
60	133	原価金額合計	必須	数字	Amount	MAX10	【原価金額合計】	
61	136	売価金額合計	必須	数字	Amount	MAX10	【0】固定または【売価金額合計】	
64	123	取引明細番号（発注・返品）	必須	英数	Identifier	MAX4	【明細行番号】	
68	187	返品・値引理由コード	必須	数字	Code	3	【001～099】の固定値	相対で調整の上、001～099の間の固定値を設定
70	72	商品コード [※] （GTIN）	必須	数字	Identifier	MAX14	【0】	固定値【0】を設定
71	73	商品コード [※] （発注用）	必須	数字	Identifier	MAX14	【小売商品コード】	
73	75	商品コード区分	必須	数字	Code	3	【999】	自社コードを表す【999】を設定
74	77	商品名	任意	文字	Text	MAX25	【商品名商】	
75	78	商品名カナ	任意	文字 (半角カナ)	Text	MAX25	【商品名商】	
85	131	原単価	必須	数字 (小数点以下2桁有り)	Amount	MAX10	【原単価】	
86	132	原価金額	必須	数字	Amount	MAX10	【原価金額】	
90	164	返品数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	【返品数量（バラ）】	
91	返品受領1	返品受領数量（バラ）	必須	数字 (小数点以下1桁有り)	Quantity	MAX7	【164返品数量と同一内容セット】	
92	348	譲渡年月1	任意	数字	Date(年月)	6	【返品商品の元納品年月】	期間を表す場合From
93	349	譲渡年月2	任意	数字	Date(年月)	6	【返品商品の元納品年月】	期間を表す場合To

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正

みんなつながる



(9) 請求メッセージにおける項目セットの方法 (補足: 適格請求書等保存方式対応)

「適格請求書等保存方式」施行に伴い、請求書単位に「税率ごとに合計した対価の額(税抜または税込)」の記載が必要になるが、請求メッセージでは請求書単位に複数の税率毎の合計金額を扱うことが出来ない。そのため「請求鑑メッセージ」で、請求書の税率毎の合計金額とそれぞれの消費税額を表現する。

請求書を基に、請求メッセージ・請求鑑メッセージの関係性は下記の通り

請求書				
請求書No : 99999999		対象期間 : 2023年11月1日～11月30日		
スーパー愛美 殿		株式会社 こだいら食品		
登録番号 : TXXXXXXXXXXXXXX		登録番号 : TXXXXXXXXXXXXXX		
ご請求金額 (税込)		¥ 63,100		
取引明細				
計上日	取引番号	表記区分	金額 (税抜)	内容
2023/11/01	1234567890	※	¥ 26,667	支払
2023/11/15	2345678901		¥ 40,500	支払
2023/10/10	0123456789	※	¥ 9,491	返品
取引額合計				
取引額合計 (税抜 : 10%対象)		¥ 40,500	消費税額	¥ 4,050
取引額合計 (税抜 : 8%対象)		¥ 17,176	消費税額	¥ 1,374

※軽減税率対象品目

共通項目
 請求リスト
 取引ヘッダー
 ※登録番号は除く

請求メッセージ対応項目
 (取引番号単位で、
 受領メッセージ/返品メッセージ連携する)

請求鑑メッセージ対応項目
 ※登録番号を含む

請求メッセージと、請求鑑メッセージは、取引ヘッダー項目(請求書番号・取引先コード・対象期間(締年月日)等)で関連付けしている。

注1 : 請求鑑メッセージを利用せず、紙での請求書鑑を発行して請求運用を継続する場合、請求書鑑を適格請求書等保存方式の要件を満たすよう書式の変更を行う必要があります。

注2 : 商品(品代)の請求書に、役務(物流費等)など異なる売り手を含む場合、売り手毎に登録番号の記載が必要になる。(役務内容がなくても、常に役務売り手の登録番号が記載されていても差し支えない)

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

(10) 支払メッセージにおける項目セットの方法 1) 請求ありの場合

■ 請求ありの場合

支払明細書のサンプルイメージ

支払明細書

対象期間2024年4月20日～5月19日

株式会社 こだいら食品 殿

登録番号:T1234567890123

スーパー愛美

登録番号:T3210987654321

取引日付	取引番号	金額	内容
24/04/20	040976	28,801	支払
24/04/21	041041	34,335	支払
24/04/22	041162	196,153	支払
24/05/01	132452	-1,000	返品
24/05/01	734222	-2,400	返品
不照合			
24/04/25	041687	13,000	支払

日付	金額	内容
24/05/20	14,000	物流費(税抜)
24/05/20	730	振込手数料(税抜)

8% 取引額合計	62,136
8% 消費税額	4,970
10% 取引額合計	193,753
10% 消費税額	19,375

10% 相殺額合計	14,730
10% 消費税額	1,473

請求額	0
税抜支払額	255,889
消費税等	24,345
相殺前合計	280,234

支払条件	現金振込
支払額	264,031
支払期日	2024年5月31日

取引番号	計上部署コード	計上日	請求符号	請求金額	支払符号	支払金額	支払内容	支払内容個別	支払内容個別名称	支払内容個別名称カナ	照合結果
040976	001	24/04/20	+	28,801	+	28,801	1001	0008			01
041041	002	24/04/21	+	34,335	+	34,335	1001	0008			01
041162	003	24/04/22	+	196,153	+	196,153	1001	0010			01
132452	004	24/05/01	+	0	-	1,000	1002	0908			02
734222	005	24/05/01	+	2,400	-	2,400	1002	0910			01
041687	006	24/04/25	+	13,000	-	13,000	1001	0000			03
0	0	24/05/20	+	0	+	62,136	3001	1008	8%仕入/返品合計額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	4,970	3001	1009	8%消費税額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	193,753	3001	1010	10%仕入/返品合計額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	19,375	3001	1011	10%消費税額		00
0	0	24/05/20	+	0	-	14,000	2000	②1110	物流費		02
0	0	24/05/20	+	0	-	730	2000	1111	振込手数料		02
0	0	24/05/20	+	0	-	14,730	3002	④1210	10%相殺合計		00
0	0	24/05/20	+	0	-	1,473	3002	1211	10%消費税額		00
0	0	24/05/20	+	255,889	+	255,889	3001	③0000	相殺前支払額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	24,345	3001	0001	消費税		00
0	0	24/05/20	+	0	+	264,031	3003	⑤0000	支払額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	0	9000	0001	こだいら食品	T1234567890123	00
0	0	24/05/20	+	0	+	0	9000	0002	スーパー愛美	T3210987654321	00

支払内容コードリスト

1001	仕入明細
1002	返品明細
1003	移動明細
1004	値引明細
1005	委託明細
2000	相殺明細 (代表コード)
3001	相殺前支払額
3002	相殺合計
3003	支払額
9000	登録番号 (新規設定)

照合結果コードリスト

00	無指定
01	請求照合分支払
02	請求のない返品・値引・相殺
03	再調査請う
04	計上払対象

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正



(10) 支払メッセージにおける項目セットの方法 1) 請求ありの場合

前頁についての説明

- ・支払内容(個別)をセットする必要がない場合は、ダミーとして”0000”をセットし、支払内容(個別)は空欄とする・・・①
- ・支払内容(個別)をセットする必要がある場合は、自社独自のコードを支払内容(個別)にセットし、コードの名称を支払内容(個別名称)にセットする。・・・②
- ・3001相殺前支払合計は、1001～1005の合計値。相殺前支払合計が外税の場合、消費税は3001(相殺前支払合計)の支払内容(個別)を使って表現する・・・③
※消費税は、支払内容(個別)を使って表現するため、メッセージ項目「税額合計金額」は使用しないこととする。
- ・3002相殺額合計は、2000の合計値。相殺額合計が外税の場合、消費税は3002(相殺合計)の支払内容個別を使って表現する。・・・④
- ・3003支払額は、3001(相殺前合計)から3002(相殺合計)を引いた値になる。・・・⑤
- ・3001～3003の照合結果コード欄には、無指定00をセットする。
- ・9000登録番号は、適格請求書発行事業者の「登録番号」をセットする場合に用いる。
支払内容(個別)により売り手を表すコードを設定、支払内容(個別名称)に売り手の企業名を全角でセットし、支払内容(個別名称カナ)に登録番号を半角でセットする。・・・⑥

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

(10) 支払メッセージにおける項目セットの方法 2) 請求レスの場合

請求レスのため、請求金額は0をセット 請求レスのため、照合結果は04計上払対象をセット

支払明細書のサンプルイメージ

支払明細書

対象期間2024年4月20日～5月19日

株式会社 こだいら食品 殿

登録番号:T1234567890123

スーパー愛美

登録番号:T3210987654321

取引明細				相殺明細		
計上日付	取引番号	金額	内容	日付	金額	内容
24/04/20	040976	28,801	支払	24/05/20	14,000	物流費(税抜)
24/04/21	041041	34,335	支払	24/05/20	730	振込手数料(税抜)
24/04/22	041162	196,153	支払			
24/05/01	132452	-1,000	返品			
24/05/01	734222	-2,400	返品			

8% 取引額合計	62,136	10% 取引額合計	193,753
8% 消費税額	4,970	10% 消費税額	19,375
10% 相殺額合計	14,730	10% 相殺額合計	1,473

請求額	0	支払条件	現金振込
税抜支払額	255,889	支払額	264,031
消費税等	24,345	支払期日	2024年5月31日
相殺前合計	280,234		

取引番号	計上部署コード	計上日	請求符号	請求金額	支払符号	支払金額	支払内容	支払内容個別	支払内容個別名称	支払内容個別名称カナ	照合結果
040976	001	24/04/20	+	0	+	28,801	1001	0008			04
041041	002	24/04/21	+	0	+	34,335	1001	0008			04
041162	003	24/04/22	+	0	+	196,153	1001	0010			04
132452	004	24/05/01	+	0	-	1,000	1002	0908			02
734222	005	24/05/01	+	0	-	2,400	1002	0910			02
0	0	24/05/20	+	0	+	62,136	3001	1008	8%仕入/返品合計額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	4,970	3001	1009	8%消費税額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	193,753	3001	1010	10%仕入/返品合計額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	19,375	3001	1011	10%消費税額		00
0	0	24/05/20	+	0	-	14,000	2000	1110	物流費		02
0	0	24/05/20	+	0	-	730	2000	1111	振込手数料		02
0	0	24/05/20	+	0	-	14,730	3002	1210	10%相殺合計		00
0	0	24/05/20	+	0	-	1,473	3002	1211	10%消費税額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	255,889	3001	0000	相殺前支払額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	24,345	3001	0001	消費税		00
0	0	24/05/20	+	0	+	264,031	3003	0000	支払額		00
0	0	24/05/20	+	0	+	0	9000	0001	こだいら食品	T1234567890123	00
0	0	24/05/20	+	0	+	0	9000	0002	スーパー愛美	T3210987654321	00

支払内容コードリスト

1001	仕入明細
1002	返品明細
1003	移動明細
1004	値引明細
1005	委託明細
2000	相殺明細 (代表コード)
3001	相殺前支払額
3002	相殺合計
3003	支払額
9000	登録番号 (新規設定)

照合結果コードリスト

00	無指定
01	請求照合分支払
02	請求のない返品・値引・相殺
03	再調査請う
04	計上払対象

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#修正



(10) 支払メッセージにおける項目セットの方法 (補足: 適格請求書等保存方式対応)

適格請求書等保存方式(インボイス制度)施行に伴い、支払運用対応として、税率毎に合計した対価の額(税抜または税込)と、それぞれの消費税額の記載が必要になる。

現在の支払メッセージでは、請求書単位で単一消費税率運用になっているが、「支払内容(個別)」「支払内容(個別名称)」を自社独自コードに個別設定することで、8%(軽減税率)支払額合計、10%(標準税率)支払額合計をデータ上で表現できる。

また「登録番号」は、「支払内容」「支払内容(個別)」「支払内容(個別名称)」で設定することで、「支払内容(個別名称カナ)」にデータで表現できる。

<データ格納例>

取引番号	計上部署コード	計上日	請求符号	請求金額	支払符号	支払金額	支払内容	支払内容(個別)	支払内容(個別名称)	支払内容(個別名称カナ)	照合結果
040976	001	2024/4/20	+	0	+	28,801	1001	0008	8%仕入明細(税抜)		04
041041	002	2024/4/21	+	0	+	34,335	1001	0008	8%仕入明細(税抜)		04
041162	003	2024/4/22	+	0	+	196,153	1001	0010	10%仕入明細(税抜)		04
132452	004	2024/5/1	+	0	-	1,000	1002	0908	8%返品明細(税抜)		02
734222	005	2024/5/1	+	0	-	2,400	1002	0910	10%返品明細(税抜)		02
0	0	2024/5/20	+	0	+	62,136	3001	1008	8%仕入/返品合計額(税抜)		00
0	0	2024/5/20	+	0	+	4,970	3001	1009	8%消費税額		00
0	0	2024/5/20	+	0	+	193,753	3001	1010	10%仕入/返品合計額(税抜)		00
0	0	2024/5/20	+	0	+	19,375	3001	1011	10%消費税額		00
0	0	2024/5/20	+	0	+	259,889	3001	0000			00
0	0	2024/5/20	+	0	-	14,000	2000	1110	物流費(10%)(税抜)		02
0	0	2024/5/20	+	0	-	730	2000	1111	振込手数料(10%)(税抜)		02
0	0	2024/5/20	+	0	-	14,730	3002	1210	10%役務合計額(税抜)		00
0	0	2024/5/20	+	0	-	1,473	3002	1211	10%消費税額		00
0	0	2024/5/20	+	0	+	264,031	3003	0000			00
0	0	2024/5/20	+	0	+	0	9000	0001	こだわり食品	T1234567890123	00
0	0	2024/5/20	+	0	+	0	9000	0002	スーパー愛美	T3210987654321	00

【相殺前支払額(支払内容:3001)】(取引額合計)に対し
 【支払内容(個別)】と【支払内容(個別名称)】を自社独自コードで
 支払内容(個別):0008(個別名称):「8%(軽減税率)仕入明細(税抜)」
 支払内容(個別):0010(個別名称):「10%(標準税率)仕入明細(税抜)」
 支払内容(個別):0908(個別名称):「8%(軽減税率)返品明細(税抜)」
 支払内容(個別):0910(個別名称):「10%(標準税率)返品明細(税抜)」
 と個別設定することで、税率毎の取引明細合計額を表現することができる。
 ※「返品明細」に対する税率は、販売時点の税率を引き継ぐものとなる

【相殺前支払額(支払内容:3001)】⇒ 62,136 (8%仕入/返品 合計額(税抜))
 【支払内容(個別)】⇒ 「1008」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 「8%仕入/返品合計額(税抜)」

【相殺前支払額(支払内容:3001)】⇒ 4,970 (8%消費税額)
 【支払内容(個別)】⇒ 「1009」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 「8%消費税額」

【相殺前支払額(支払内容:3001)】⇒ 193,753 (10%仕入/返品 合計額(税抜))
 【支払内容(個別)】⇒ 「1010」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 「10%仕入/返品合計額(税抜)」

【相殺前支払額(支払内容:3001)】⇒ 19,375 (10%消費税額)
 【支払内容(個別)】⇒ 「1011」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 「10%消費税額」

【相殺前支払額(支払内容:3001)】(取引額合計) 259,289 (税抜)

【相殺明細(支払内容:2000)】※役務の提供分
 【支払内容(個別)】⇒ 「1110」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 役務の提供内容

【相殺合計(支払内容:3002)】⇒ 14,730 (10%役務の提供)
 【支払内容(個別)】⇒ 「1210」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 「10%役務合計額(税抜)」
 【支払内容(個別)】⇒ 「1211」 ※独自コードとして設定
 【支払内容(個別)】⇒ 「10%消費税額」

【支払額(支払内容:3003)】⇒ 支払内容:3001・3002 の合計額

【支払内容:9000】⇒ 登録番号(コードリストより)
 【支払内容(個別)】⇒ 「0001:卸・メーカー」「0002:小売」※独自コードとして設定
 【支払内容(個別名称)】⇒ 「卸・メーカー」、「小売」の企業名称(全角)
 【支払内容(個別名称カナ)】⇒ 「T+」(13桁) 登録番号を設定(半角)

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#スライド追加

みんなつながる

流通MS

(11) 補足: 適格請求書等保存方式(インボイス制度)対応についての留意点(1)

● 請求鑑メッセージ、支払メッセージについて

・適格請求書等保存方式(インボイス制度)施行に伴い、請求鑑メッセージ、支払メッセージにおいて、「税率ごとに合計した対価の額(税抜又は税込)、及び適用税率とそれぞれの消費税額」の格納が必要になるが、商品(品代)などに係る請求・支払の金額と、物流費などの「役務の提供」に係る金額は、それぞれ売り手が異なるため、同一税率であっても合計・相殺することはできない。

そのため、一つの請求メッセージ上、一つの支払メッセージ上で、異なる売り手の内容(品代、役務の提供)が同時に格納されている場合は、登録番号を含め「税率ごとに合計した対価の額(税抜又は税込)、及び適用税率とそれぞれの消費税額」は、売り手ごとに表現しなければならないことを留意する。

また、請求レスにおける支払メッセージの売り手への確認は、「送付後一定期間内に誤りのある旨の連絡がない場合には記載内容のとおり確認があったものとする」といった文言の記載を、基本契約書等の記録書類に行うことが推奨されている点にも留意する。

3. 発注メッセージ～支払メッセージ

#スライド追加

みんなつながる

流通MS

(11)補足:適格請求書等保存方式(インボイス制度)対応についての留意点(2)

●返品メッセージについて

・適格請求書等保存方式(インボイス制度)施行に伴い、返品などの「返還インボイス」の要件として、「売上に係る対価の返還等を行う場合、基となった課税資産の譲渡等を行った年月日の記載が必要」となるため、返品メッセージ(及び返品受領メッセージ)に、返品される商品の「譲渡日(元納品日)」を格納する項目が追加された。

「譲渡日(元納品日)」に格納する年月日については、「適格請求書を交付した売上げに係るものについては、課税期間の範囲で一定の期間の記載で差し支えない」という内容に基づき、月単位や「〇月～△月分」といった記載も認められているため、格納項目名は「譲渡年月1」「譲渡年月2」としている。

どのような年月や期間で格納・運用するかは、小売、卸・メーカー相対で確認の上決定するものとする。

また、返品メッセージ(及び返品受領メッセージ)の「譲渡年月1」「譲渡年月2」を新たに利用する場合、協定シート等で双方確認の上利用する。

尚「返還インボイス」は、売上げに係る対価の返還を受ける課税事業者に対して交付しなければならないため、「返品」の場合、卸・メーカーが小売に対し交付することが原則となるが、現行の商慣習に基づき小売から卸・メーカーへの交付であっても事前に文章等で運用の確認を行っていれば認められている。

< 譲渡年月(元納品年月)の格納例 >

・「前月末日」の格納運用の場合

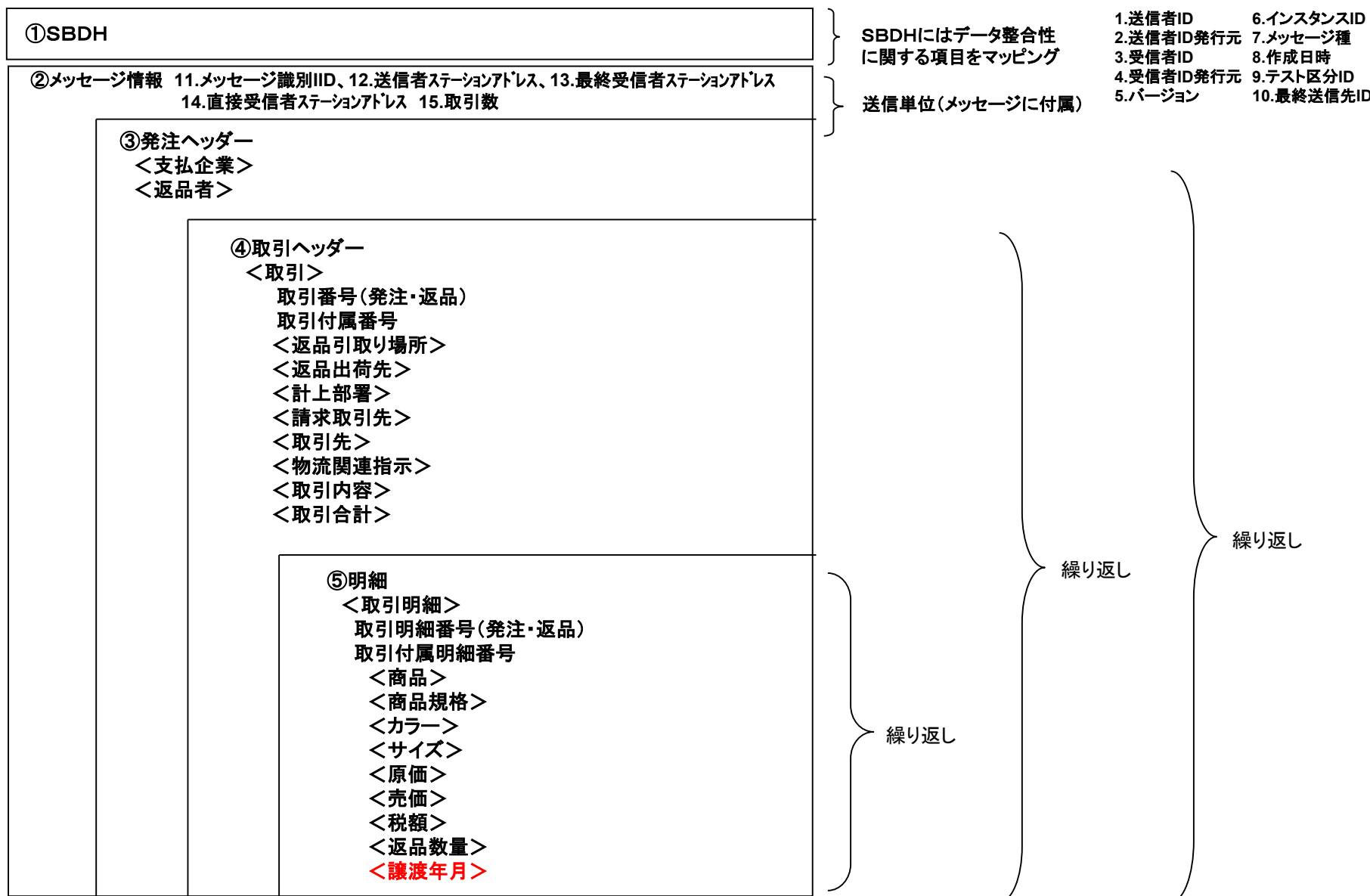
例)「2023年11月末日」⇒「譲渡年月1」に「2023-11」で格納する。(「譲渡年月2」は使用しない)

・「一定の期間」の格納運用の場合

例)「2023年11月～2024年1月」⇒「譲渡年月1」に「2023-11」(From)、「譲渡年月2」に「2024-01」(To)を格納する。

2. メッセージ別の階層構造概要 返品メッセージ

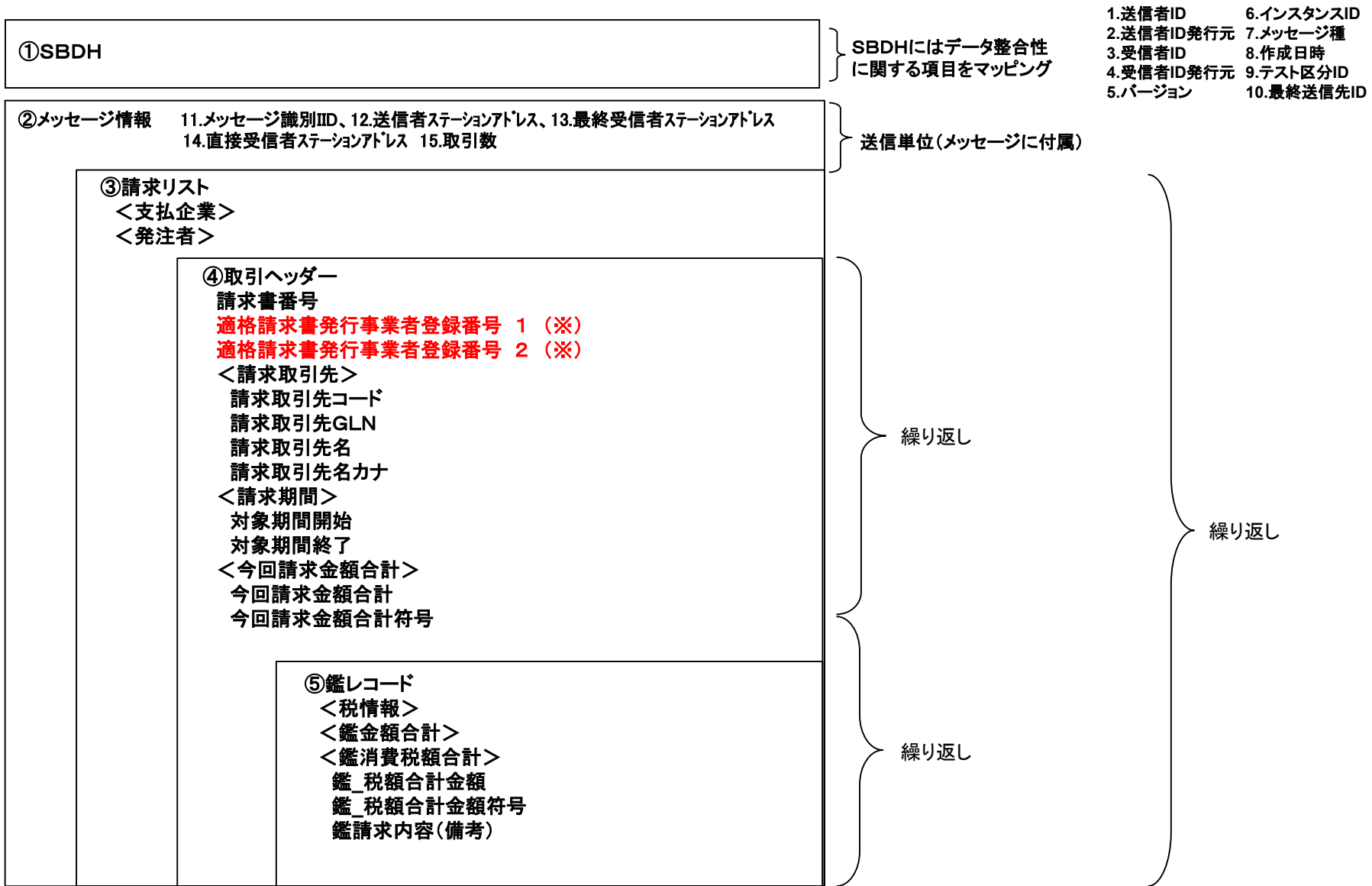
#修正



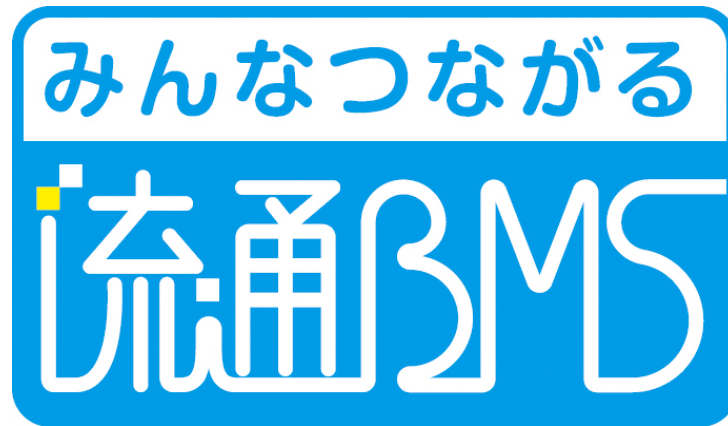
2. メッセージ別の階層構造概要

請求鑑メッセージ

#修正



※「適格請求書発行事業者登録番号」は、適格請求書等保存方式施行後に必要になる項目



「流通ビジネスメッセージ標準」ならびに「流通BMS」は一般財団法人流通システム開発センターの登録商標です。